

横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザにおける通所介護サービス利用者の事故について

令和3年2月14日(日)、本市指定管理施設である横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザの通所介護サービス利用者(以下「利用者」という。)が、施設内で転倒し、大腿骨左大転子部を骨折する事故が発生しました。

1 発生日時、場所

令和3年2月14日(日) 午前11時50分頃

横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ

2 事故の経緯

令和3年2月14日(日) 午前11時50分頃	利用者がデイルームからトイレに行く際に見守りを行っていたが、デイルームに戻る途中で利用者から目を離したところ転倒。利用者が左臀部の痛みを訴えたことから、看護師が状態を確認し、受診の必要ありと判断。
午前12時10分頃	ご家族へ事故の報告をするとともに謝罪。
午前12時30分頃	ご家族と合流し、市内病院に救急搬送。
午後3時00分頃	受診の結果、大腿骨左大転子部骨折を確認。手術及びリハビリが必要と診断され、入院となった。

3 利用者の状況

90歳代女性：大腿骨左大転子部骨折

4 利用者への対応

今後、利用者の経過を観察し、退院後に向けて、自宅での生活やリハビリテーション施設を利用する場合等に備え、必要な調整を行います。

5 指定管理者

社会福祉法人横浜市福祉サービス協会

横浜市清水ヶ丘地域ケアプラザ

所在地：南区清水ヶ丘49

6 事故原因

見守りが必要な利用者にもかかわらず、利用者から目を離したため。

7 再発防止策

今回の事故を踏まえ、改めて通所介護サービス業務に携わる職員に、利用者の身体状況に十分配慮して介助をするよう徹底します。また、区内地域ケアプラザにも今回の事故について情報提供し、改めて利用者の安全確保について注意喚起を行います。

お問合せ先

南区福祉保健課長 永峯 浩子 Tel 045-341-1179

社会福祉法人横浜市福祉サービス協会 清水ヶ丘地域ケアプラザ所長 中村 直樹 Tel 045-253-0071